

日本政策投資銀行から5年連続「BCM格付」の最高ランクを取得



「DBJ BCM格付」認定証



左：成田取締役常務執行役員（日本政策投資銀行） 右：秋山代表取締役社長（当社）

当社は、このたび株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」という。）が実施する「DBJ BCM格付」において、2014年から引き続き、5年連続で最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ BCM格付」は、DBJが開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューであり、今回の審査では、

- （１） 「ダイナベース」の建設に際し、免震構造を採用するほか、京浜トラックターミナル全体をカバーする72時間対応の非常用自家発電設備を導入した点
- （２） BCPの実効性を高めるべく、総合建設事業者らと有事協定を締結することで、初動対応の迅速性と施設や設備の修繕等にかかる人員を確保した点
- （３） 操業中断が財務に与える影響の客観性を確保するために、外部評価を導入し、事業中断時のキャッシュフロー分析を行い、必要資金を確保している点

等の取り組みが評価され、「防災および事業継続への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を5年連続で取得しました。

当社は、今後も引き続き防災および事業継続の取り組みを積極的に進め、「災害に強いトラックターミナル」を構築してまいります。

以上